

小代焼窯元の会



概要

設立年月 平成14年4月

会長 井上泰秋 (いのおうえ たいしゅう)

会員数 12窯元

住所 荒尾市緑ヶ丘1丁目1番地2

荒尾市観光物産館内

主な活動地 荒尾市、南関町、長州町、熊本市、松橋町

小代焼は、熊本県の北部小笠山麓において、江戸時代初期から焼き続けられている熊本を代表する陶器で、細川藩の庇護のもと、茶陶や日用品として素朴で力強い作風が親しまれ、広く作られてきました。

小代焼の窯元は、この四百年にわたって続いてきた小代焼の歴史と伝統技術の保存と継承に努めるとともに、さらなる発展を図るために平成十一年から、窯元間の連携・協力を深め、合同の展示会を開催するなど研鑽に励んできました。

小代焼窯元の会は、それまでの活動をさらに進め、小代焼を一つの産業として発展させていくために、国の伝統的工芸品の指定を目指して十二の窯元で平成十四年四月に設立されました。その活動は、平成十四年に「くまもと陶磁器展」で奨励賞を受賞するなど高く評価されるものとなり、国の指定を受けるため体制づくりに取り組み、その結果、平成十五年三月、国の指定を受けることとなりました。

その後、平成十五年十月に東京での展示会の開催、十一月には十二窯元の合同パブリックの作成など、熊本の陶芸としての小代焼の知名度・ブランドを全国的にも確立するための活動を行っているほか、地元においても普及活動を行っています。国の伝統的工芸品の指定は熊本県では初めて（天草陶磁器・肥後象がんと同時）であり、県内の他の工芸家に大きな刺激を与えており、小代焼窯元の会の今後の活動が地域文化の発展に大きく寄与するものと期待されています。

これまでの活動歴

平成十年 十月	(一九九八)	小代焼の窯元が初会合を開く
平成十一年 八月	(一九九九)	第一回小代焼合同展開催（県伝統工芸館）
平成十二年 七月	(二〇〇〇)	第一回くまもと陶磁器展に小代焼統一参加（グランメッセ熊本）
平成十三年 三月	(二〇〇一)	小代焼展開催（県伝統工芸館）
平成十四年 三月	(二〇〇二)	「二〇〇二荒尾・玉名地域窯元展」参加（県伝統工芸館）
四月		小代焼窯元の会（十二窯元）を結成
六月		くまもと陶磁器展で奨励賞を受ける（グランメッセ熊本）
平成十五年 三月	(二〇〇三)	国の伝統的工芸品の指定を受ける
六月		くまもと陶磁器展で奨励賞を受ける（グランメッセ熊本）
九月		「荒尾・玉名地域窯元展」参加（県伝統工芸館）
十月		東京銀座熊本館で展示会の開催
十一月		小代焼合同パブリック作成